

地域の防火・防災のために尽力 出初表彰

長年にわたり消防活動に尽力された
方々に各関係機関から表彰状などが
贈られました＝敬称略＝。

● 大垣市長表彰

＊特別功労章／中川分団分団長＝高田薫、時分団分団長＝廣澤優、墨俣東分団分団長＝北島久司

● 大垣市消防団消防基金表彰

＊勤務成績優秀表彰／安井分団団員＝伊藤慶・西脇基展、綾里分団団員＝山田浩輔、洲本分団団員＝小寺宏尚・渡邊一輝、川並分団団員＝安藤宣貴、中川分団団員＝木村至佑・長谷川拓海、和合分団団員＝清水智仁、三城分団団員＝安藤寿英・川地浩貴、荒崎分団団員＝黒田俊輔、牧田分団団員＝川地健斗、墨俣西分団団員＝清水優一朗・長屋太直

＊優秀家族表彰／＜20年勤続＞小倉誠（和合分団員の家族）、堀場尚子（南分団員の家族）＜10年勤続＞大橋雅子（青墓分団員の家族）、水野巴（西分団員の家族）、横幕恵理（和合分団員の家族）、吉岡茜（荒崎分団員の家族）

＊消防功績表彰／三城分団元後援会理事＝岡田勝

● 大垣消防組合消防長表彰

＊特別功績章／興文分団部長＝澁谷将也、安井分団部長＝川合静典、墨俣東分団部長＝岡田智浩、墨俣西分団部長＝青山賢一、興文分団班長＝猪俣吉信、浅草分団班長＝須田山智成、荒崎分団班長＝柳江泰秀、洲本分団団員＝渡部浩司

＊功労章／東分団部長＝坂誠一、赤坂分団部長＝澤佳威、牧田分団部長＝清水秀明、興文

分団班長＝戸田直孝、宇留生分団班長＝大屋誠・牛屋聖司・早野達信、綾里分団班長＝安田隆宏、洲本分団班長＝渡邊一司・秋吉弘朗、浅草分団班長＝天本正男・吉田周平、中川分団班長＝林玲於、和合分団班長＝杉原大誠、赤坂分団班長＝河合龍憲、牧田分団班長＝甲斐大貴、一之瀬分団班長＝山元啓太・山元誠矢、時分団班長＝小川豊、墨俣西分団班長＝岸隆裕、静里分団団員＝吉田洋平、荒崎分団団員＝吉岡祐嗣、多良分団団員＝三輪京平

● 大垣市消防協会長表彰

＊功績章／東分団部長＝坂誠一、赤坂分団部長＝澤佳威・小森一将、西分団班長＝三和直輝、日新分団班長＝川口仁嗣、綾里分団班長＝柳田俊宏・内藤仁雄、川並分団班長＝廣瀬邦博・伊藤宏泰、中川分団班長＝植村謙太、荒崎分団班長＝吉川敬士、牧田分団班長＝宮田秀真、多良分団班長＝渡邊智樹、時分団班長＝金森佳之、安井分団団員＝西脇慎也、宇留生分団団員＝市原俊英、静里分団団員＝小寺剛弘、和合分団団員＝大石翔太・岡村健二、時分団団員＝池井輝

● 大垣市消防団長表彰

＊功労章／赤坂分団部長＝小森一将、時分団部長＝伊東亮太、東分団班長＝河村朋貴、南分団班長＝立川悠太、日新分団班長＝藤井憲昭、綾里分団班長＝内藤仁雄・柳田俊宏・佐々弘典・日比優樹、中川分団班長＝植村謙太・加藤和敬、三城分団班長＝臼井至博・

子安良和、赤坂分団班長＝安保匠・松岡里記・松岡史樹、一之瀬分団班長＝伊賀大貴、多良分団班長＝渡邊智樹、墨俣東分団班長＝大江伸明、静里分団団員＝山下沙織・松村一輝、綾里分団団員＝山田晃聖、川並分団団員＝青木良紀、赤坂分団団員＝長澤匡倫、青墓分団団員＝臼井誠、牧田分団団員＝中山朋之・寺元亮・高木龍洋・清水大和、時分団団員＝伊藤寛之、墨俣東分団団員＝清水智仁、墨俣西分団団員＝牧野高巳・白木裕一・大江浩司

＊特別精勤章／西分団班長＝栗田賢介、和合分団班長＝杉原大誠、墨俣西分団班長＝平尾剛克、和合分団団員＝大石翔太、墨俣東分団団員＝松山和晃

＊精勤章／綾里分団部長＝桑原慎・入川征也、牧田分団部長＝清水秀明、多良分団部長＝小寺健太、西分団班長＝三輪直輝、日新分団班長＝川口仁嗣、綾里分団班長＝柳田俊宏、洲本分団班長＝久瀬周平、中川分団班長＝渡部恭平、多良分団班長＝小寺修司、時分団班長＝田内秀征・大谷和輝、興文分団団員＝佐藤琢磨・久保山理紗子、北分団団員＝福田航大・亀井貴生、日新分団団員＝萩野晃・森遼弥・名和賢樹・佐竹知、綾里分団団員＝佐竹溪一・水野翔太、川並分団団員＝廣瀬邦雄・渡邊智之・岩田亮・長谷川高志・川合佳彦、中川分団団員＝竹原陽菜・稲川泰平・稲川正也、和合分団団員＝岡村健二・河瀬伊織・北川昭成、三城分団団員＝説田光将、青墓分団団員＝谷口友樹・安田貴之・窪田司、牧田分団団員＝森川拓徳・高木啓佑・高木研二、多良分団団員＝渡邊浩志・三輪大祐、時分団団員＝吉廣祐輝、墨俣東分団団員＝櫻井喜久男・小林将之・大野博・廣瀬勝則、墨俣西分団団員＝稲吉信二・田中健夫

● 大垣市女性防火クラブ連絡協議会 会長表彰

＊優良章／北地区女性防火クラブ＝香田末代

市民病院・豊田院長の 健康コラム No.22

今年もよろしくお祈いします
～2026年の大垣市民病院～

皆さん、あけましておめでとうございます。市民病院院長の豊田秀徳です。健康コラム第22回をお届けします。今年も年頭にあたり、わが市民病院についてお話しさせていただきます。

昨年は市民病院にも色々と変化がありました。4月には院内にコンビニエンスストアを設置しました。また、「大垣市民病院線」という、大垣駅と病院の玄関を直通で結ぶバス路線を開設しました。これらの新しい設備が少しでも病院を訪れる患者さんや付き添いの方々のお役に立つことを願っています。

また院内では重症の患者さんの命を守る集中治療科、大怪我など多くの診療科が協力して治療にあたる必要のある患者さんを担当する救急科という、2つの新しい科を創設しました。重症の患者さんや珍しい病気の患者さん、複数の病気が合併している患者さんなど、あらゆる患者さんの病気・病態に対応し、ベストな治療ができる状態であることが、市民病院の使命だと考えています。

またこの広報にも掲載されているように、今年は新たにドクターカーを導入します。救急車が必要な重症患者さんに対して市民病院の医師がドクターカーに乗って病院から出向き、救急隊とともにできるだけ早くから治療を開始しつつ、病院にも連絡して病院到着後の治療に必要な準備をさせる、これによってより迅速かつ適切な治療を行うことができます。これからは皆さんも街中で市民病院のドクターカーを見かけることがあるかも



しれません。
さて、外に目を転じれば高齢化が進んでいます。この結果、高齢の方々が急に調子を崩したり、転んで怪我をされたりして入院が必要になることが急速に増えてきました。実は高齢者が病気をすると「入院して病気は治ったが寝たきりになってしまった」という場合が少なくありません。高齢の患者さんに対しては、病気の治療とともに「元気に家に帰る」ことを目指して、入院後早い時期から栄養状態を保ってリハビリを進めるということが大変重要になります。市民病院では医師や看護師に加えて理学療法士、栄養士にも加わってもらって高齢患者さんの「入院中の体力を保つ」ためのチームを作り、高齢者の健康な生活を守っていききたいと思います。さらに医師会の先生とも協力して、病院から在宅まで切れ目のない医療と介護を提供し、健康の面から安心した生活を送れる大垣市を目指します。

このような院内の充実・救急医療体制の拡充・高齢患者さんの体力保持への努力などを通じて全力で市民の皆さんの健康・安心を守る所存です。市民のみなさんが安心して暮らせる大垣市、これを健康面から支えるのが市民病院の役目です。2026年もよろしくお祈い申し上げます。



コラムで取り
上げてほしい話
題などは、入力
フォームへ



入力フォーム